

令和2年度 学校評価報告

草加市立新田小学校
(令和3年1月29日作成)

1 学校教育目標	
生き生き元気 伸び育つ新田っ子 ～よく学ぶ子・思いやりのある子・たくましい子～	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 草加っ子の基礎・基本の習得 ・ 信頼され、潤いある教育活動の推進 ・ 主体的・対話的で深い学びの研究 ・ 生徒指導の充実 ・ 安心安全教育の推進 ・ 教育環境の整備 ・ 開かれた学校づくりの推進 	成果 ○校内研修の充実により教職員の指導力が向上し、児童の学力向上に成果を上げた。 課題 ●小中一貫教育推進のための情報共有と系統性を意識した授業の実践

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校経営目標、方針 ・ 校務分掌組織 ・ 適所への適材配置 ・ 職員会議等の運営 ・ 予算の執行・決算、監査等 	A	○学校経営方針に基づき、部会や職員会議での話し合いが行われ、限られた時間を有効活用して運営ができた。 ●校務分掌の職務内容を見直し負担の平準化を図る。
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究組織、計画、実施 ・ 校内研修の推進 ・ 授業改善への取組 ・ 校外研修会への参加 ・ 人材育成 	B	○新しい研究に向けての土台づくりと1人1実践を行うことで積極的な研修が行えた。 ●コロナ禍もあり校外での研修機会が減少した。個々のスキルアップを図る必要がある。
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健計画、安全計画 ・ 環境衛生の管理 ・ 健康観察、安全点検 ・ 緊急事態発生時の対応 ・ 危機管理マニュアルの作成・活用 	A	○感染予防策を職員間で共通理解し、学校・家庭が協力して予防策を徹底することができた。 ●感染症対策を講じながら緊急事態を想定した訓練を実施する必要がある。
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報の管理、保護 ・ 施設設備の管理と有効利用 	A	○倫理確立委員会を定期的開催し、情報管理、保護についての意識の高揚を図ることができ、事故0を継続できた。 ●情報管理、施設設備管理の体制をさらに強化する必要がある。
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校情報の発信 ・ 学校公開の実施 ・ 学校運営協議会の推進 ・ 地域、校種間連携 ・ PTA活動の活性化 	B	○コロナ禍であったが、学校HPを充実させ、開かれた学校づくりを進めることができた。 ●地域及び校種間の連係・交流、PTA活動ができなかった。コロナ禍の実践方法を模索する必要がある。
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目指す子ども像の共有 ・ 15年間を通じたカリキュラムの編成 ・ 一貫教育推進のための組織づくり 	B	○人的交流が難しい中、各校・各園と協力して作品交流などを実施できた。 ●幼保小中一貫教育をより一層充実させるための教育課程の工夫改善が必要である。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	B	<p>○各学級で学習計画を作成。6月から計画的に授業を進め、今年度の教育課程を終えることができた。</p> <p>●学習の遅れを取り戻すためのよりよい時数確保の方法を検討すること。</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<p>○コロナ禍でも工夫した教育計画を作成し学習を進めた。</p> <p>●感染症対策を講じた上で、主体的・対話的で深い学びを充実させること。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	<p>○「考え、議論する道徳」の実践に向けて指導方法の改善、生活に生きる道徳について実践力を高めることができた。</p> <p>●道徳的実践意欲を高める評価方法を充実させること。</p>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<p>○A L Tと小中連携教員を活用し、担任主導の充実が図れた。</p> <p>●A L T及び小中連携教員を交えた授業プランの打ち合わせ時間を確保すること。</p>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<p>○コロナで活動に制約がある中、できることを工夫して実践できた。</p> <p>●オンラインを活用した活動を検討し、実施方法に工夫改善を加えること</p>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<p>○I C Tの活用や学校図書館の活用を充実させ、教科横断的な指導が定着した。</p> <p>●コロナ禍での体験的な学習活動の進め方を模索する。</p>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<p>○定期的な生徒指導委員会開催で情報を共有し、組織的な対応ができた。</p> <p>●問題行動へ適切に対応するために関係機関との連携を強化すること。</p>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<p>○キャリアパスポート本格稼働に向けて中学校区で準備を進めることができた。</p> <p>●指導内容を充実させ、系統的な指導体制を確立していく。</p>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<p>○個別の指導計画や支援計画の作成により一人ひとりに寄り添った指導をすることができた。ユニバーサルデザインの視点を生かした学級経営が浸透した。</p> <p>●ユニバーサルデザインの視点を生かした授業の充実を図る。</p>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	B	<p>○図書室の環境整備や読書ラリー・読書月間などの取組により図書に親しむ児童が増えてきた。</p> <p>●多読とともに精読することの大切さを知り、読み取る力の育成を図る。</p>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 I C T機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	<p>○全学級に大型のモニターを設置。G I G Aスクール構想に向けてI C T機器の充実と指導方法の改善ができた。</p> <p>●1人1台のP C導入で変化する機器の活用やI C T機器を効果的に活用した指導方法の研修の充実を図る。</p>
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	<p>○人権教育週間を設定し、今年度はコロナによる差別についての授業で児童個々の人権尊重意欲を高めることができた。</p> <p>●児童一人ひとりに人権感覚を身につけさせるため、継続的な指導と授業開発を行い工夫改善する。</p>

草加市立新田小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	⑬ 研修と修養	<ul style="list-style-type: none"> ・研修体制の確立 ・実践力 ・校内の環境整備 ・倫理確立委員会 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○「探求心・共生心・自律心」(非認知的能力)を高め『資質・能力』を育成する研修体制をつくり、課題意識を持って一人ひとりが実践できた。 ●指導力を向上させる研修を充実させ『学び』のプロ集団の育成を図る。
	⑭ 開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・HP更新 ・家庭学習強化週間 ・学校運営協議会 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍でも学校の様子を共有できる新しいHPと毎日の更新による情報発信を行った。中学校区で行っている取組では家庭と連携して家庭学習の習慣化を図り成果を上げた。 ●保護者・地域との連携を強化し、子ども達の健全な育成を目指す。
	⑮ 豊かな心を育む教育実践	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育 ・図書館教育 ・児童会活動 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の時間だけでなく心を育てる活動を継続的に行っている。図書館教育の充実により心の安定と自分をよりよくするヒントのある空間となっている。また、児童会が主体となっているあいさつの取組など自分たちから変える取組を実践している。 ●さらに道徳教育・図書館教育・児童会活動を充実させていきたい。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- コロナ禍ではあったが、新しい生活様式を取り入れての学習活動、オンライン授業、分散型の学校行事などで学校教育を進めることができた。
- 学校HPを一新し、情報発信を毎日行った。
- 高学年で一部教科担任制を実施したため、学級の枠を越えて児童を育てることができた。
- 保護者からの相談も受けられる教育相談日の設定、また、新田中学校からさわやか相談員を招いて小中の連携を図っている「いじめ撲滅委員会」の設置で安心安全な学校運営を目指すことができた。
- 図書室の環境整備や全校での読書活動を推進したことで、読書に意欲的に取り組む児童が増え、3年連続で10000冊以上の貸出となった。
- 新田中学校区で家庭学習強化週間を学期毎に設定し、保護者に家庭学習の意義を理解していただいた。幼少期から連続した家庭学習の習慣を定着させることができた。

6 次年度の改善策

- 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラムを参考に、幼保小中一貫教育を推進するため情報の共有化と授業における一貫性を意識していく。また、行事等の精選を図り、より効果的な連携を目指す。
- 各教科・領域の学力向上プランを見直し、学校が一体となってさらなる学力向上の手立てを整える。
- 各学カテストの分析とその後の授業改善を効果的に行い、児童の学力向上と教員の指導力向上を図る。
- 外国語や外国語活動の授業実施に向けて乗り入れ授業教員やALTと協力して楽しく学びながら先の学習を意識した授業の工夫改善を図る。